

日 曜 議 会

2月26日に日曜議会を開催します。

○ 日 時 平成24年2月26日（日）午前10時～午後6時25分ごろ

○ 内 容 市長の平成24年度施政方針に対する各会派からの質問（質問内容は下表のとおり）

○ 問合先 議会事務局（電話 042-387-9947）

発言時間	会 派 名	議 員 名	発 言 の 表 題
10:00～ 11:10	民主党・ 社民クラブ	村山 秀貴	1 基本方針とその施策について (1) 優先すべき施策は何か (2) 行財政改革 (3) 小金井しあわせプラン
		鈴木 成夫	2 「子ども元気プロジェクト」とは何か (1) プロジェクトの中身がわかりにくい。具体的な構想があるのか (2) 市民との協働事業として、市民力を引き出すためにプロジェクトの目指す方針を示すべき
		宮崎 晴光	3 小金井市のまちづくり方針を問う
		武井 正明	4 ごみの安定的処理体制の確立を (1) 二枚橋焼却場跡地活用方針は年度内決着を目指すべき (2) あらゆる選択肢の方策は、年内を目途に方針を示すべき
11:10～ 12:20	小金井市議会 公明党	紀 由紀子	1 ごみ問題について (1) ごみ処理問題の解決に向けて問う（P4） (2) ごみ減量施策と啓発の更なる推進を（P5）
			2 自然エネルギーの取組の拡充を（P5）
			3 復興支援について（P6）
		渡辺ふき子	4 地域力を高め、安全安心のまち小金井に (1) 市民協働を市民に広く浸透させ、ささえ合いの心を防犯防災に生かすべき（P6） (2) 「子ども元気プロジェクト」は、地域ぐるみの子育てから（P4）
		小林 正樹	5 「豊かな人間性を次世代の夢を育むまち」の創造について（P7） (1) 芸術と文化の拠点を一体とした街づくりやパンフレットを作成しないか (2) 小金井市非核平和都市宣言を念頭に更なる平和に対する意識啓発をおこなわないか
		宮下 誠	6 年齢を重ねるごとに幸せになる「幸齢」社会の実現へ（P9） (1) 数千年来、人類が渴望してきた「不老長寿」を目指し最前線で闘う高齢者に対し、もっと応援しないか (2) 幸せな加齢5条件（栄養・運動・社会への参加・新しいものへのオープンな姿勢・前向き思考）の角度から施策を再確認しないか
			7 行革への姿勢を問う（P10） (1) 第3次行財政改革大綱に示された77項目の改善対象について、それぞれの項目ごとに、「誰が」・「いつまでに」・「なにを達成するか」を詳細に表し、年4回その進捗状況を公表していかないか

13:20～ 15:00	みどり・ 市民ネット	漢人 明子	1 小金井市民の「新しい市政」を求める思いに応える市政運営を (1) なぜ一年間に2回の市長選を行うことになったのか (2) 4月と12月のそれぞれの市長選挙の結果が示した市民の意思
		片山 薫	2 大震災と原発事故以降の社会と小金井市の役割 (1) エネルギー問題と持続可能な社会の作り方について (2) 全国的に注目された放射能測定室の実績をどのように評価し活用していくのか
		田頭 祐子	3 参加と協働のまちづくりには (1) 子どもの参加をどう位置付けるのか (2) 市民協働のあり方検討委員会の答申は、どのように活かされるのか
		渡辺 大三	4 ごみ問題について (1) 一部事務組合入りの方針の可能性について (2) 国分寺市との関係について (3) 将来計画の確定に至る作業手順について
			5 財政問題について (1) 一点豪華主義ハコモノ行政の弊害について (2) 人件費問題など、行政改革の方向性について
		青木ひかる	6 市民生活を直撃するダブル値上げの責任を問う (1) 国民健康保険、介護保険のダブル値上げは、大久保・稲葉2代の市長の下で進められたリース庁舎と大型開発による税金の無駄使いの結果であり、市長はその責任を明確にすべきである
15:30～ 16:40	自由民主党 小金井市議団	中山 克己	1 平成24年度の可燃ごみ処理施策について問う (1) 武蔵小金井駅周辺再開発南口第2地区及び北口地区と東小金井区画整理事業の今後について
		遠藤百合子	2 子育ての分野で問う (1) 一日保育士体験をどのように進めるのか
			3 健康を維持し、医療費を削減していくためには
		露口 哲治	4 遅々として進まない高架下の利用について (1) 中央線高架下利用の全体像はどうなっている (2) 中央線高架下駐輪場とJR中央線ラインモール構想と東小金井駅西口改札についての考えを問う (3) 中央線高架下利用計画の遅れと財源への影響を問う
		中根 三枝	5 日頃から高齢者等にやさしく温かい福祉施策が望まれる。平成23年度は災害時要援護対策のモデル地区事業の1号として貫井南町東自治会と災害時要援護者個別支援プラン等協定を結んだ。平成24年度はモデル地区の拡大を目指すということだが、規模と方針を問う 6 市民交流センター マルチパーパススペースについて
16:40～ 17:05	改革連合	篠原ひろし	1 市財政非常事態宣言をすべきでは (1) 施政方針において最も注視すべき課題は財政状況である。臨時財政対策債等を除いた経常収支比率は104.1%に悪化し臨対債が百億円を超過した深刻さを市民に広報すべき。歳出削減を図らねばならないが、今後予想される市庁舎建設や駅周辺整備等には資産処分やPFI手法等を用いて税金投入を抑制する計画を進めるべきだ

17:15～ 18:25	日本共産党 小金井市議団	板倉 真也	1 市民の暮らしの実態と増税・社会保障の改悪、負担増への認識を問う (1) 市民の暮らしに対する「税と社会保障の一体改革」の認識を問う (2) 市の市民負担増計画は、暮らしも財政も破綻する (3) 市民の暮らしを守るのが市政の第1の役割
		森戸 洋子	2 ゴミ処理問題の早期解決について、見解を問う (1) 実現が不可能な二枚橋焼却場跡地への建設方針の転換を求める (2) 新たな方針について、3月中から上半期に方向性を示すべきではないか。じっくり時間をかける余裕はない (3) 確実な解決の道一燃やすゴミの徹底減量の目標をもつべきではないか。1万tまで減量を
		関根 優司	3 3・11から1年 原発と震災対策に対する認識を問う (1) 原発に対する市長の認識について (2) 震災対策に対する市長の見解を問う
		水上 洋志	4 大型開発・不要不急の道路整備をやめ、市民生活を第1の市政の実現を (1) 危機的財源不足の中での財政運営を問う (2) 市民生活を守る5つの緊急プランの実現を

※ 発言時間については、各会派の持ち時間制を採用しています。また、発言時間が変更となる場合がありますので、ご了承ください。